

京商ビジネススクールを 活用した人材育成

京商ビジネススクールでは、年間約100コースの定期公開セミナーを開催し、階層別、職種別、テーマ別など幅広い内容のセミナーを実施しています。今回は、自社の育成方針を掲げる中で、京商ビジネススクールを有効に活用している企業にインタビューし、人材育成への想いや、京商ビジネススクールを利用したメリットをお伺いしました。

京商ビジネススクールの魅力は 幅広いテーマ

観光都市・京都のおもてなしを 担う人材育成

株式会社京都ホテル

株式会社京都ホテル

住所/京都市中京区河原町通二条南入
一之船入町537-4
TEL / 075-211-5111
事業内容/ホテル業務
URL/http://www.kyotohotel.co.jp/



増尾 善彦さん (総務部付部長兼人事課長)

京都を訪れる観光客の数は年々増え続けています。私たちの人材教育の目標は、一人のスーパーマンを育てることではなく、たとえフロント業務であってもバックヤード業務であっても、それぞれがその能力を最大限に発揮することで、おもてなしの質を全体的に向上していくことだと考えています。

かけて選抜し、奮起するきっかけにすることもありませう。「やる気と成果を出すためのセミナー」など、同じ悩みを持つ異業種の人たちから刺激を受け、新たな目標を持って戻ってくることも多いですね。



柳生 昌孝さん (総務部人事課課付課長)

る...」など、単なる精神論ではなく、感情をコントロールして部下に分かりやすく指示を伝える方法など、知識と技術の両面から学ぶことができませう。この受講をきっかけに、アンガーマネジメントの講座を社内でも独自開催するなど、京商ビジネススクールの関心のあるテーマはさらに深掘りして、業務の中で実践するようにしています。人材を一人ひとりの自己実現の場とすることで、社員満足、そして顧客満足へとつながっていきませう。



京商ビジネススクールをきっかけに独自で開催したアンガーマネジメント研修の様子

京商ビジネススクールとは

京都商工会議所では京都企業の人材育成の支援を重要な目標として掲げており、京商ビジネススクールにおいて、優れた講師陣やハイレベルな内容のセミナーなどを実施することで、知恵を活かすことのできる「自律人材」の育成サポートを行っています。

定期公開セミナー

評価の高い講師やニーズに沿ったテーマを厳選し、ビジネスの様々な場面で必要となる職務遂行能力を養う研修を企画・実施しています。

オーダーメイド研修

各企業・団体の人材育成方針に合わせて、最適な研修プログラムを企画・提供するほか、講演会や式典などへの講師派遣も行います。


お問合せ | 本所 会員部 人材開発センター

TEL.075-212-6446 FAX.075-222-2612
e-mail jinzai@kyo.or.jp
URL http://www.kyo.or.jp/jinzai/



平成28年度 新入社員研修のご案内

開校式 平成28年4月4日(月)

9:00~9:05	主催者挨拶	京都商工会議所 会頭 立石 義雄
9:10~9:50	【講演】「経験がすべて」	 京都商工会議所 副会頭 公益社団法人京都工業会 会長 服部 重彦 氏 株式会社島津製作所 相談役

本コース(A~Hコース)受講生は、開校式に無料で参加することができます。

コース	日 時	タイトル	研修目的
A-1 A-2 A-3	4月4日(月) 9:00~17:00 4月11日(月) 9:30~16:30	仕事の基本 マスターコース	(1) 学生気分を払拭し、ビジネスパーソンとしての自覚を促す (2) ビジネス現場に必要な基本マナーを身につける (3) 組織の中で必要な自主性と協調性を養う
B-1 B-2	4月5日(火) 9:30~16:30	ビジネス電話・文書の 基本マスターコース	(1) ビジネスに必要な「話す」「書く」の基本を身につける (2) ロールプレイングで電話対応の基本を体得し、即戦力を目指す (3) ビジネス文書(社外・社内)とEメールの基本ルールを習得する
C-1 C-2	4月6日(水) 9:30~16:30	接客対応の基本 マスターコース	(1) 基本的な「挨拶」「行動」「話し方」を身につける (2) 好感と安心を生み出すコミュニケーションを体得する (3) クレームの原因を考え、顧客の満足度を高める
D	4月7日(木) 9:30~16:30	営業の基本 マスターコース	(1) 営業担当者としての心構えと求められる役割を学ぶ (2) 営業の流れを知り、事例とワークを交えて基本スキルを身につける (3) 自分を成長させるための目標設定のあり方を学ぶ
E	4月8日(金) 9:30~16:30	プロ意識養成 コース	(1) 周囲の状況をしっかり把握できる観察力を養う (2) 自己を客観視し、強み・弱みを把握する力を体得する (3) 自らの力で前へ進む姿勢を身につける
F	4月12日(火) 9:30~16:30	New 販売の基本 マスターコース	(1) 販売担当者としての意識を高め、求められる役割を理解する (2) ロールプレイングを通して、すぐ実践できるスキルを体得する (3) 自社商品を効果的にアピールする商品説明の基本を習得する
G	4月12日(火) 9:30~16:30	製造の基本 マスターコース	(1) 製造業に従事する者としてのものづくりの基本と心構えを学ぶ (2) 自身の心がけが作業精度を大きく左右することを理解する (3) 製造業における正しい仕事のやり方を理解し、作業の重要性を学ぶ
H	4月14日(木) 10:00~16:00	ビジネスパソコンの 基本マスターコース	(1) 業務遂行に欠かすことのできないパソコンの基本スキルを習得する (2) 文書作成(Word)や売上等の数値管理(Excel)を学ぶ (3) 効果的なビジネス文書等の作成手法を習得する

※A-1・2・3コースは同じカリキュラムになります。ご都合の良い日程をお選び下さい。(A-1・2コースのみ、開校式の時間が含まれています) 受講者には研修振り返りシートを記入いただき、後日派遣担当者に送付いたします。(Hコース除く)

【会 場】 **A-1・A-3・B-1・C-1・D~Gコース** 京都商工会議所 (京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅南6番出口直結)
A-2・C-2コース 京都新聞文化ホール (京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅南7番出口すぐ)
B-2コース ハートピア京都 (京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅5番出口すぐ)
Hコース ヒューマンアカデミー京都校 (阪急京都線「烏丸」駅・京都市営地下鉄烏丸線「四条」駅21番出口から2分)

【対 象】 新入社員・若手社員

【受講料】 京都商工会議所会員 10,800円/一般 15,120円

京都経営者協会・(一社)京都経済同友会・(公社)京都工業会・京都府内の商工会議所・商工会いづれかの会員 12,960円

※いずれも、1コース・消費税込みで、テキスト資料代・昼食代を含みます。(Hコースのみ、昼食代は含まれません)

お申込み
お問合せ 本所 会員部 人材開発センター TEL.075-212-6446 FAX.075-222-2612 e-mail jinzai@kyo.or.jp
 URL http://www.kyo.or.jp/jinzai/

京商と補助金を活用した 新入社員教育

若手人材の育成を企業の ステップアップにつなげる

大和電設工業株式会社

大和電設工業株式会社

住 所/京都市南区吉祥院池ノ内町83
 TEL/075-672-3311
 事業内容/電話・LAN等情報通信、
 電気設備の企画・施工など
 URL/http://www.d-d-k.co.jp/



渡辺 卓也さん (システム技術部部长)

当社が、新人教育に力を注ぐようになったのは、今から7年ほど前のことです。それまでは即戦力を期待して中途採用をメインに行っていたが、常に進化する技術ニーズに対応するために、将来を担う人材を一から育成し、社内に「学び」の雰囲気醸成しようと考えたのがきっかけです。

ちょうどその時に京都商工会議所の経営支援員さんから厚生労働省のジョブ・カード制度について教えていただきました。就労者の職務能力を評価するツールですが、うまく利用すれば計画的に新入社員の教育を行えるようになっていきます。また、要件に当てはまれば、「キャリア形成

促進助成金」を受けられることができ、当社では補助金を活用しながら新入社員の教育制度を体系的に整備しました。

今年も6名の新入社員が京都商工会議所の「京商ビジネススクール」を活用させていただきました。早い時期からスケジュールが決まっているので、計画的に受講できます。特に、5回シリーズの「社会人基礎力養成セミナー」では、コミュニケーション力やプレゼンテーション力を高めるトレーニングだけでなく、適性検査アセスメントを使った自己分析で、社員の能力がどのように変化しているかを把握でき、その後のフォローアップ教育の参考になりました。受講をきっかけに、それまであまり目立たなかった社員が積極的に意見を言えるようになるなど、少しずつですが社内の雰囲気も変わりつつあります。

また、社内でもグループ研修を行いました。仕事で使う材料を覚えることも兼ねた倉庫整理の研修です。新入社員にグループで課題の発見と解決について取り組んでもらいました。

中小企業が自社で教育制度を完備したり、研修費用を負担するのはなかなか厳しいですが、京商ビジネス



倉庫整理の研修を行う新入社員

スクールと補助金を活用することで、我々のような中小企業でも充実した新入社員教育ができています。

ある大学の先生から、「大学は学生を社会に送り出す最後の砦という言葉聞いた時に、大学はそのように真剣に考えて学生を教育しているのかと感銘を受けました。そうした期待をしっかりと受け止め、彼らを「地域」社会に貢献できる自立した人材に育てていくことが、私たち企業の使命だと考えています。